



深谷中だより

NO. 170

令和2年5月臨時号

校長 榎田 卓央

残念ですが、臨時休校期間延長されました

先日、保護者メールと学校ホームページでお知らせしましたが、新型コロナウイルスの感染が続いているために、臨時休校期間が5月31日まで延長されました。残念です。

もっとも残念に感じているのは生徒のみなさんだと思います。せっかく、進級や入学を果たしたのに学校に行けない！他県では学校再開しているのに横浜市は休校なの？等悩んでいることが多いかと思います。その気持ち、よくわかります。しかしみなさんの健康あっての中学校生活です。薬の開発も進んでいるようですし、この新型ウイルスを乗り越えようと、医療関係者等多くの人が頑張っているということを耳にしています。また人々の生活を守るために働いている人が数多くいます。この感染症が落ち着くまで深谷中学校の全員で、心を一つにして頑張っていきましょう。

太古の昔から人類は、感染症に遭遇し脅かされ、そしてそれを乗り越えようとする努力の繰り返しの歴史の中にいます。ウイルスの数やそれがもたらす病気はたくさんありますので、ここに全部は書き切れませんが、例えば天然痘は紀元前から地球上に存在したことが、エジプトで分かっています。日本でも6世紀以降、周期的に流行が確認されていました。同じ頃ヨーロッパではペストも流行していました。20世紀（1901年以降）に入っても、スペイン風邪といった新しい型のインフルエンザやヒトの免疫力を攻撃する感染症が多く発生しました。医学の進歩で、先人たちは病気を乗り越えてきますが、どの時代でも「自分が感染しない」「他人に感染させない」のが大切だったことが歴史的にも証明されています。それは、ひとことで言うと「清潔の維持」です。新型コロナウイルスが終息するまで、不要・不急の外出はせず、丁寧なうがい手洗い、バランスの取れた食事と十分な睡眠を、みんなで心がけていきたいものです！